

絆 求 め て

2月24日発行

文責 私学振興専門員 久保田学



活かそう「10の姿のピクトグラム」

通信「絆求めてNo.24」で、「語り合いで保育が変わる」(編著;大豆生田啓友 著;高嶋景子 三谷大紀)のご本を紹介させていただきました。語り合う研修の例として、保育ドキュメンテーションの利用についてふれ、下記内容をお伝えしました。

さて、過日長野県信州幼児教育支援センター主催の、「幼児教育アドバイザー連絡協議会」がありました。その会議の中で、センターが作成した「10の姿のピクトグラム(10の姿を単純化し絵や図形で表したものの)」の紹介がありました。本年度園を訪問する中で、保育の可視化についてお話をさせていただき、様々な園の実践に学ばせていただきました。その際、「週案や月案、年間計画に10の姿を位置づけ、保育者が10の姿で子どもの学びを捉えられるように工夫しています。」「保育ドキュメンテーションやラーニングストーリーでのエピソード記録を10の姿にふれ記載するようにしています。」「保護者に子どもの活動写真入りポートフォリオをお渡ししています。その中に10の姿を記載しています。」などの話をいただきました。これらの取り組みは、保育者が子どもの育ちを考える上で、非常に大切な実践であり、また保育者と保護者が10の姿を共有していく上でも有効と感しました。裏面には、「10の姿のピクトグラム」を載せました。御覧いただき、ぜひ日々の保育のまとめや振り返り、園内研修に活用してみてください。

<語り合う研修の例> (絆求めてNo.24 より)

- この本には、園内研修のために特別に何かを用意するのではなく、日々の保育で取り組んでいるものを活用する方法が紹介されています。具体的には「日誌・ドキュメンテーション・連絡帳を題材とした語り合う研修」です。作成したドキュメンテーションを使って、子どもたちが、何を体験しているか「10の姿を」てがかりに振り返ってみる。 *ドキュメンテーション=保育を可視化したもの
以下にその手順を紹介します。

- ① 自分の作成したドキュメンテーションをグループ内で紹介する。
- ② 紹介されたドキュメンテーションの中から1つを選び、ドキュメンテーション上の子どもの写真や文章に、こどもたちが体験していると思う、「10の姿」の付箋をはる。
*このとき、同じ10の姿の付箋を全員で同時にはってみるとよい
- ③はった理由や、見取った子どもの育ちについて語り合う
- ④子どものより豊かな経験のために、どのような援助や環境構成が必要か語り合う

*ドキュメンテーションを作成する際、ドキュメンテーションに「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」についてチェックできる部分(下図参照)を作り、記入を簡略化する工夫も紹介されていました。

幼児期の 終わりまで に育って ほしい10 の姿	健康な 心とからだ	自立 心	協 同 性	道徳性・規 範意識の芽 生え	思 考 力 の 芽 生 え	社会生 活との 関わり	自然との関 わり・生命 尊重	数量・図形・ 文字等への 関心・意欲	言語に よる伝 え合い	豊かな 感性と 表現
--------------------------------------	--------------	---------	-------------	----------------------	---------------------------------	-------------------	----------------------	--------------------------	-------------------	------------------

←上の10の姿の内、今回の園児の様子から読み取れた姿に○をして記録に残す

10の姿のピクトグラムを作りました

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）をピクトグラムで表現しました。
保育ドキュメンテーションや各種お便り等にご活用ください。



1 健康な心と体



2 自立心



3 協同性



4 回復性・
挑戦意欲の芽生え



5 社会生活との関わり



6 思考力の芽生え



7 自然との関わり・
生命尊重



8 数や図形、
漢字や文字
などへの関心・意欲



9 言葉による伝え合い



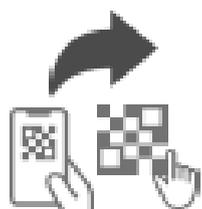
10 豊かな感性と表現

©2022信州幼児教育支援センター

入手方法



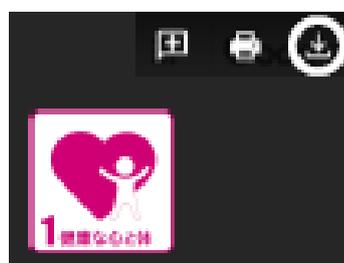
https://drive.google.com/drive/folders/12fFmALrIri3oeMeJwg2pNivL8G2F6I00?usp=share_link



ダウンロードして
お使いください。
様々なサイズや
モノクロの
バージョンも
あります。



上記アイコンをクリックしても
ダウンロードできます



問合せ先

信州幼児教育支援センター（長野県教育委員会事務局次長官の改革支援課）
〒380-8570 長野市南長野幅下692-2

電話 026-235-7489 FAX 026-235-7495

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/20190401youji.html>

mail shinshuyoji@pref.nagano.lg.jp

(担当：鈴木)

